

新型コロナウイルス感染症の疑いのある 職員・入所者が発生した場合の初動対応における留意点

～高齢者施設におけるクラスター発生を防ぐために～

留意点① 複数人の発熱が同時期に発生したら、クラスター発生の可能性があります

・ これまでに発生したクラスターでは、「職員・入所者の発熱が複数人同時期に発生」が発端となっていることが多いので、こういった症状が現れたら「もしかしてコロナかも」と疑い、保健所に相談し、施設内での感染対策を強化しましょう。

留意点② 感染の疑いのある人や密に接していた人を隔離する等の対応を行いましょう

陽性者(疑いも含む)、濃厚接触者を速やかに特定し、隔離(個室管理)することが初動時の最大のポイントです。その際、可能な限り、入所者には不織布マスクを着用させ、介助者はPPEを着用してください。

陽性者が確認された場合、濃厚接触者は保健所が聞き取りのうえ決定しますが、保健所の指示を待っている間に施設内で感染が広がる危険があるので、初動段階でまず

- ・ 施設の判断で濃厚接触者と考えられる者を特定し、
- ・ 個室に移動する等の隔離を行い、
- ・ その方と他の入所者の介護にあたる職員を可能な限り分け、
- ・ そのために必要な勤務体制の変更や職員確保について検討する、

などの対策を速やかに始め、感染の拡大を防ぎましょう。

留意点③ 入所者・職員の健康状態を把握し、記録をつけましょう

- ・入所者及び職員の**名簿を作成** (※) し、**毎日の検温結果や健康状態について記録**をつけておくことで、感染している可能性のある方の早期の把握・対応が可能となります。
- ・あわせて、職員と入所者のうち、**誰が陽性者でどういう接触があったのか**をなるべく正確に把握・記録しておくことも大切です。初動時は混乱のため名簿が不正確になりがちですので、日ごろから名簿の作成等を行っておくことをお勧めします。

※ 添付の様式を参考にしてください

留意点④ 対策を検討するために、必要となる資料を準備しましょう

- ・保健所等の指導を受けて対策を検討する際に、以下のような資料を準備しておくことで、速やかな検討・対策につながります。日ごろから準備しておきましょう。

- ➡ 入所者名簿、居室見取り図、食事座席表、レクリエーション座席表、入浴者リスト、配車表（通院送迎など）、バイタル・SP02、健康管理（食欲の状況など）の記録、ワクチン接種状況 など
- ➡ 職員名簿、出勤の状況（シフト表）、ワクチンの接種状況 など

まずは、基本的な感染対策（マスクの着用、手指のアルコール消毒等）の徹底をお願いします！